

第 4 1 6 回

香川海区漁業調整委員会議事録

令和 8 年 6 月 1 1 日

第 4 1 6 回 香 川 海 区 漁 業 調 整 委 員 会 議 事 録

1 . 開 催 年 月 日 令 和 8 年 6 月 1 1 日 (木)
 委 員 会 : 午 前 10 時 00 分 ~ 10 時 36 分

2 . 開 催 場 所 高 松 市 番 町 四 丁 目 1 番 10 号
 香 川 県 庁 本 館 12 階 大 会 議 室

3 . 出 席 し た 委 員

会	長	北	尾	登	史	郎
委	員	山	本	浩	智	
	〃	橋	本	時	雄	
	〃	北	野	廣	治	
	〃	宇	山	哲	司	
	〃	松	本	伊	三	郎
	〃	木	下	一	彦	
	〃	小	山	雅	司	
	〃	一	田	弘	樹	
	〃	宮	地	利	博	
	〃	嶋	野	勝	路	
	〃	石	原	千	代	子
	〃	筒	井	由	果	
	〃	島	瀬	勇	二	

4 . 関 係 列 席 者

水産課、事務局

水	産	課	長	藤	原	宗	弘
事	務	局	長	兼	漁	業	調
整	室	長		植	田		豊
事	務	局	次	長	兼	室	長
補	佐			石	田	鉄	兵
事	務	局	次	長	兼	室	長
補	佐			益	井	敏	光
副		主	幹	小	林		武
主			任	湯	谷		篤
主			任	宮	奥	昂	次
主	任	技	師	丸	山	俊	輔

5. 議事事項とその結果

第1号議案 「まさば及びごまさばに関する知事管理漁獲可能量について（諮問）」
諮問された内容で適当である旨答申することに決定した。

第2号議案 「いいだこ釣りに関する委員会指示について（協議）」
内容について事務局が説明し、委員会指示を発出することを決定した。

6. 議事のあらまし

委員会を開会した後、北尾会長が議長となり、議事録署名人に橋本委員と筒井委員を指名して議事を進行した。

〔北尾会長〕

それでは議題に入ります。第1号議案「まさば及びごまさばに関する知事管理漁獲可能量について」事務局より説明願います。

〔湯谷主任〕

（資料1に基づいて説明）

〔北尾会長〕

この件につきまして、ご意見、ご質問ございますでしょうか。

（意見等なし）

〔北尾会長〕

よろしいでしょうか。それでは、この諮問に対して適当である旨の答申をしたいと思っています。

続きまして、「いいだこ釣りに関する委員会指示について」事務局より説明をお願いします。

〔湯谷主任〕

（資料2-1、2-2、2-3に基づいて説明）

〔北尾会長〕

ただいま事務局から、海区委員会に対して、いいだこ釣りに関する委員会指示発出の知事要請とアンケート調査の結果についてご説明をいただきました。アンケートの調査結果はすべて、委員会指示に賛成か、より強い規制をかけてほしいというご意見で、特に反対意見はなかったということです。委員の皆様から、ご自由に発言をお願いします。

〔山本委員〕

これは、やってみないと分からないと思います。

〔木下委員〕

これは、1年だけ出すのですか。何年ぐらい続けるのですか。

〔益井室長補佐〕

基本的には更新していくものと考えています。今後の状況を見ながら、見直すのか更新するのかについて協議させていただきたいと思います。

〔北尾会長〕

日本海のクロマグロのように急激に漁獲量が増えた場合は見直すのだと思います。本県のイイダコ資源が回復傾向であるならば、見直しがあるのではないかと思います。

〔北野委員〕

遊漁船業者にも、今後周知していくのですか。

〔益井室長補佐〕

本県だけではなく、県外の関係者にも周知していく必要がありますので、効果的な方法を検討したいと思っています。

〔山本委員〕

今回はイイダコだけの話ですが、イイダコだけでなく、底もののゲタから大ダコまで獲れなくなっています。イイダコについては遊漁が原因の一端ということですが、それ以外の魚種については、その原因として、水質が悪いのか、餌がないのか、底質が悪いのかなどについて、今後、水産試験場で調査していく考えはありますか。

〔藤原課長〕

豊かな海づくりについては、県全体で考えておりまして、水産試験場でも底質やベントス等の調査を令和6年度から実施しています。今後、モニタリングをしながら、何が悪いのか、どういうことができるのかを考えていきたいと思っています。

〔山本委員〕

今では底曳網漁船の数は減りましたが、操業している場所には、今も少なからずエビが生息していますが、操業しなくなった場所ではエビの数が減少しています。これは、何らかの原因があるのだと思います。そういうことも調べて欲しいと思います。

〔北尾会長〕

その他、ございませんか。

〔北野委員〕

乱獲よりも、環境の変化が原因だと思います。

〔山本委員〕

鴨部川周辺ではマコガレイやタコ、イイダコの稚魚がいるのに、沖合には全然おりません。何か原因があるのだと思います。

〔北野委員〕

鴨部川周辺では環境が壊れていないからではないですか。

〔山本委員〕

結局餌だと思います。コロナ禍でもマコガレイが獲れ、高松の魚市場で1万円の高値が付いていました。アオノリの食害対策で建網をしています。魚はいます。稚ダコも、モクズガニを食べに来るのか、この建網に入ってきます。でも沖合にはいません。去年、カキが暑さで死んだといいますが、大体40度ぐらいまでは死なないと思います。昔水温が30度のときもありましたし、今は昔より1、2度は高いのかもしれませんが、ほとんど変わらないと思います。これは漁師の勘ですが、産卵で体力が落ちているときに餌がないと、死んでしまうのではないかと思います。沖には稚魚がいませんが、川尻周辺には稚魚や岩ガキが多く生息しており、やはり餌が関係しているのだと思います。サワラも餌となるカタクチイワシが多ければ獲れます。川尻とかに生態が残っているのに、なぜ沖合に残っていないのかについては調べないといけないと思います。

〔北尾会長〕

そのほか、ご意見ございませんか。

(意 見 等 な し)

〔北尾会長〕

前回の委員会で、香川県だけで規制するのではなく、瀬戸内海全体で取組まないとな効果が出ないのではないかというご意見がございました。今回、近隣県の水産課にもアンケートをお願いしたということですが、香川県の取組に対して、各県の反応はどうだったのでしょうか。

〔湯谷主任〕

今回のアンケートの回答については、無記名の方もおり、その方が香川県の方なのか、岡山県の方なのか、分かりませんでした。

〔北尾会長〕

他県の水産部局として、前向きに取り組むとか、そういう反応はありませんでしたか。

〔藤原課長〕

特段の反応はございませんでしたが、北野委員さんから岡山県からの遊漁が特に多いといったお話に関しまして、従来岡山県との事前協議を年末ぐらいにしていたんですが、今年は少し早めにして、香川県でもこういう取組をしていることを伝えたいと思います。

〔北尾会長〕

協力しながら取組んでいただければと思います。それでは、海区委員会として委員会指示を出すことを承認したいと思います。

その他、何かございますか。

(意 見 等 な し)

〔北尾会長〕

それでは、これで第４１６回の海区漁業調整委員会を閉じたいと思います。

〔閉 会 午前１０時３６分〕

上記は第４１６回香川海区漁業調整委員会の議事の顛末に相違ありません。

議 長 北 尾 登 史 郎

署名委員 橋 本 時 雄

署名委員 筒 井 由 果